

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター みつばすみれ学園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68	(回答者数) 44
○従業者評価実施期間	令和7年1月16日		～ 令和7年1月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析している。	療育開始前に、子どもの状況の情報共有を行い、対応方法の確認をし、統一した関わりが出来るように心掛けている。	職員間において、子どもの支援におけるねらいや、活動の目的の情報共有を図り、充実した支援につなげていきます。より良い支援の提供のために、研修の充実化や他機関との連携を図っていきます。
2	保護者支援、保護者向けの勉強会・情報提供の機会	保護者会の時間等を活用し、就学情報提供会・ペアレントトレーニングなど、専門性のある勉強会を実施している。 また、保護者同士がつながる場を提供し、家庭生活や社会生活が円滑に営めるよう支援している。	今後も、保護者の方からのニーズを把握し、より充実した勉強会等の開催を検討していきます。
3	情報発信	メール配信サービスを活用し、連絡事項等を配信している。園便りやInstagram・ホームページ等で活動の様子を発信している。	今後もメール配信サービスやSNS等を活用していきます。Instagramで療育の様子を公開した時は保護者に通知し、活動の様子を見ていただく機会を増やしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防犯対策	・不審者対応の防犯訓練を実施できていない。 ・外部の方が自由に入出入りできる環境になっている。	利用児に負担のない形での実施を検討し、防犯に関する研修を計画、実施していきます。
2	きょうだいの交流	・運動会などでは、家族みんなが楽しめるイベントを行っているが、きょうだい児が交流できるイベントはまだ提供できていない。	きょうだい児同士の交流が出来るようなイベントについて、来年度以降検討していきます。